

学習指導案

期 日：2018年 6月14日

対象生徒：佐伯城南中学校 2年2組37名

指導者：T1 首藤康章 T2 ロマノのぞみ

1、題 材 名 「友人と週末の予定を立てよう」

2、単元の目標と評価規準

(1)単元の目標

- ・接続詞 if を使って、場合に分けて明日の予定を説明できるようになる。
(外国語表現の能力)
- ・相手の提案について耳を傾け、うなづいたりメモをとったりするなどその内容を聞き取ろうとしている。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・接続詞 if の入った構文を身につける。(言語や文化についての知識・理解)

(2)評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ア	外国語表現の能力 イ	外国語理解の能力 ウ	言語や文化についての知識・理解 エ
アクティビティで相手の質問に対し、予定に他己紹介を、うなづいたりメモをとったりしながら関心を持って聞く。	週末の予定について、接続詞 if を使って、場合に分けた提案ができるようになる。		接続詞 if 構文を使った複文の内容が理解できる。

(3)本授業における習熟度別指導の手立て

①システム	少人数習熟度別 一斉 TT ・問題演習時 標準コース(仮名)と基礎コースに分けて指導 (T1 基礎 T2 発展) ・終了後に、互いのコースで作成した対話文を発表し合う
②指導法	・音声→文字の指導順序 (文字→音声の順に比べて、苦手な生徒の抵抗は少ない) ・全員にモデル英文を提示する(手本の模倣→反復による習熟)
③教材・教具	・問題演習 基礎コース…奇数番号問題 発展コース…全ての問題 ・数学と同じように、全員で例題を解く

3、指導の立場

(1)教材観

本単元で生徒は、仮定を表現する接続詞 if の使い方を学習する。if を使った英作文やスピーチが苦手な生徒が多い単元である。if が他の既習接続詞 and, but, or, because, (when) と異なる点は、①複文の先頭に置かれることが多いこと (because, so は中学校レベルでは後ろにつく) ②仮定法を考慮する場合があるため、使用場面が制限されること ③単語レベルの接続も多い and, or と比べて、文レベルの接続のみであること ④「時制の一致」を頭に入れる必要があること、などである。加えて、中学校英語教科書では、if の登場頻度が少ないゆえに(2年生教科書では P22、31 の 2 回のみ)、慣れという面から考えても、if は中学生にとって難しい表現である。コーパス情報(電子化大規模用例集)によると、「if + 命令文(例:If you get lost, please call.)」は、仮定法ほどではないが、会話での頻度が高い。

平成 30 年本格実施の新学習指導要領では、中学 3 年生で「簡単な仮定法」を学習することにな

っており、来年度からは頻出も予想される。本ページは、その橋渡しともなる文法事項である。習得の困難さが予想されるが、「もし～だったら？」と仮定を表現する文型が使えると、英語表現でできる幅が広がる。よって、是非定着させておきたい構文である。教科書 P 22 Let's Talk ②では、「もし明日晴れたら(雨だったら)」と、天気状況により、どんなスポーツをするかを考えさせる内容である。If it's clear(rainy)と、従属節には be 動詞を使っているし、主節も let's play~と友だちを誘う表現になっており、動詞の活用を考慮しなくてもいいので、英語の苦手な生徒にとっても比較的取り組みやすい内容だと言える。

(2)生徒観

2-2 は 37 名。挙手・発表する生徒も多く、全体的に英語の授業に意欲的である。例えば、教科書音読や制限時間内の単語インプット練習では、生徒の声もよく出ており、明るい雰囲気での授業が進んでいく。一方、基本文を使った英作文活動や問題演習等、書く活動が入ってくると、発表する生徒が固定化しつつある。例えば、不規則動詞単語テスト(日本語→英語への筆記)の結果を見ると、テスト成績の上位者と下位者の格差が大きい。音声の蓄積不足、文字と綴りを一致させる時間の不足、反復による練習時間の不足等、様々な原因が考えられる。中位者に関しては、単語の再テストで多くの生徒が合格する事実を考えると、反復による習熟時間を取ることができれば大丈夫である。一方、個別に支援が必要な生徒が 2 人いる。音読練習中に英文にふりがなを打っている場面が見られた。「音がわからないから、ふりがながないと読めない」という。そんな彼らも、授業を投げ出すことはなく、頑張っている。

(3)指導観

本題材のゴールとして、接続詞 if を使った英文を使って、明日の行動を決める対話活動(If it's clear, let's play ~.)とともに、「もし～なら」を意識した(If it's rainy, let's play shogi. /If you have 「どこでもドア」、what would you go? ---I would go to the USA.)と、discourse を意識した 4 文の対話文作成を行いたい。身近な話題や面白い話題を扱うことに加えて、対話練習による音声蓄積を通して、接続詞 if 構文使用への抵抗を減らすとともに、高校入試での自由英作文対策にもしたい。

本クラスの習熟度別指導の焦点を A さん、B 君への個人指導に充てたい。A さん、B 君に関しては、音読への抵抗を減らす一手段として、文字を見せる前に対話練習を行いたい。音声→文字というステップを経ることで、いきなり英文を読ませるよりは取り組みやすくなると思う。なお、教室数や時間割組みの関係で、少人数指導が困難なため、習熟度別指導の手立てとして、(1)一斉指導時間内に習熟度別指導の時間を取り入れる (2)T2 が、A さん、B 君の支援に回ることとした。その他習熟度別指導として、同時間内に解く問題の選択方式(時間調整も含め)、教材・教具としては、教科書準拠ワークやプリントの問題を選択方式にすることを考えている。

4、指導と評価の計画(本時は 2 / 2)

時	学習のねらい	評価規準(方法)
1	対話練習や教科書内容を通じて、接続詞 if 構文の使い方を理解させる。	行動の観察
2 本時	if を使った 2 文の対話を作成させる	対話文評価



5、本時案

(1)ねらい ・ifを使った2文の対話文を作ることができる。

(2)展 開

学習活動	教師の指導・支援	時	評価・教具	
1、簡単な会話練習を行う	・PCの画像を見ながら、ペアで英語でのやりとりを行う(帯活動)	7	PC画像	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>例1: Did you watch TV? Yes, I did./ No, I didn't. What did you watch? I watched ××.</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-left: 200px;"> <p>例2: If you have どこでもドア, where would you go? I would go to ●●</p> </div>				
2、前時の復習(音読)	・P22を音読させる<PC 教師の後、CDの後、オーバーラッピング、>	8		
3、本時のめあてを知る	ifを使って、週末の予定を考える2文の対話文を作ろう			
4、本時の学習 ①2文または4文の対話文を作る ◆(基礎グループと標準グループに分かれる)	○基礎グループ(前方黒板を使って指導)	●標準グループ(後方ホワイトボード)	20	PC画像
	<p>課題:「雨だったら～しよう」「晴れだったら～しよう」という2文の対話文を作る</p> <p>A: If it's < >, let's play ~.</p> <p>B:</p>		<p>課題:「～だったら、テニスをしよう」という文を含んだ2文の対話文を作る</p> <p>A: If < >, let's play tennis.</p> <p>B:</p>	ワークシート (例文つき)
授業の終わりに発表することを伝える				黒板 ホワイトボード
	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル文を提示「晴れ(雨だったら)」 A: If it's clear, let's play soccer. B: OK. Let's go to the park. ・書けた生徒は、ノートを教師に持ってくる→板書させる(「晴れ」) ・書けた生徒は、「雨」で書かせる) 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル文を提示「雨(晴れ)だったら」「暑かったら」「ひまだったら」 A: If you are free, let's swim. B: Sorry, I can't swim. ・書けた生徒は、ノートを教師に持ってくる→板書させる(4文に挑戦させてもよい) 		
②できた英文を発表する(ペア→全体)	・作成した英文を発表させる。 まずペアの相手に。続いて代表者4名に発表させる	10	ワークシート	
③自分の作ったifの英文を使い、対話を行う)→オプションパーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・【発展練習】Ifを使った英文を使って、対話を行わせる (1)Ifを使った文に、アンダーラインを引かせる (2)教師がモデル対話を行う(例) T1: <u>If you are free, let's go to an amusement park.</u> (ここはそのまま使う) T2: I'm sorry. I can't go with you. (ここは承諾してもいいし、断ってもいい) (3)ペアで対話をさせる。(4)グループで回し読みをする 			
5、まとめをきく				

習熟度
別指導
場面

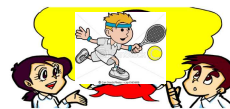
If 「もし~ならば、」を使った4行の対話文を作ろう。

条件

(1)2文(書ける人は4文以上)

(2)冊は1回のみ

(3)流れのある英文



【基本文】

If it's clear, let's play baseball.

「もし天気がよければ、ソフトボールをしましょう」



If you are free, let's go to Oita.

「もし時間があったら、大分に行きましょう」



モデル英文①

A: Do you like takoyaki ?

B: Yes, I do.

A: If you are free, let's go to Osaka.

B: Sure. Let's eat okonomiyaki too.

モデル英文②

A: If it's clear, let's play baseball.

B: Why not ? I love baseball.

B: What team do you like ?

A: I like the Tigers.

():

():

():

():

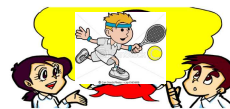
【チャレンジ】

2年()組 ()番 氏名

If 「もし~ならば、」を使った2行の対話文を作ろう。

条件

- (1) 2文(書ける人は4文以上)
- (2) Ifは1回のみ
- (3) 流れのある英文



【基本文】

If it's clear, let's play baseball.

「もし天気がよければ、ソフトボールをしましょう」



If you are free, let's go to Oita.

「もし時間があったら、大分へ行きましょう」



モデル英文①

A: If it's clear, let's play tennis.

B: Sure. It's nice. I like tennis.

○ OKする場合

・ Sure./It's OK./Yes, let's./Oh, I like~その他.

× 断る場合

・ I'm sorry./I'm busy./その他

():
If it's (), let's play ().

():

():

():

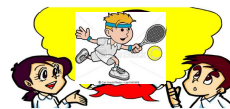
【基礎】

2年()組 ()番 氏名

If 「もし~ならば、」を使った2行の対話文を作ろう。

条件

- (1) 2文(書ける人は4文以上)
- (2) Ifは1回のみ
- (3) 流れのある英文



【基本文】

If it's clear, let's play baseball.

「もし天気がよければ、ソフトボールをしましょう」



If you are free, let's go to Oita.

「もし時間があったら、大分へ行きましょう」



モデル英文①

A: If it's clear, let's play tennis.

B: Sure. It's nice. I like tennis.

○ OKする場合

・ Sure./It's OK./Yes, let's./Oh, I like~その他.

× 断る場合

・ I'm sorry./I'm busy./その他

():
 < _____ > , let's play tennis.

():

():

():

【標準①】

2年()組 ()番 氏名